

新聞部 センバツ速報を配布

吹雪のなか速報紙を配る新聞部員



近江高校新聞部局

と合同で制作



▲両校が合同で速報を配布した様子は多くのメディアで取り上げられた。

▲彦根駅付近で配布したキマグレ第1719号（詳しくは本校ホームページをご覧ください）



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

この速報は本校と近江高校の2校がセンバツに出場する可能性を受けて、2校合同でセンバツ出場決定を伝える速報を作ろうと、本校新聞部が近江高校新聞部局に声をかけたことで実現した。紙面デザインと本校野球部の記事は本校、近江高校野球部の記事は近江高校の新聞部局、というように両校がそれぞれ役割を分担し、両校がそれぞれの野球部の練習風景の撮影、選手や監督の取材を行った。近江高校新聞部局が書いた記事は本校新聞部がデザインした紙面に当て込んで両校の記事が一面にまとめられた。

完成した速報紙は部員が彦根駅付近のコンビニで100枚印刷し、両校野球部のセンバツ出場が決定した20分後に彦根駅付近で配布された。配布には本校新聞部から7名、近江高校からは新聞部局員だけでなく生徒会執行部のメン

赤鬼の春Ⅱ 5

本校野球部の第90回記念選抜高等学校野球大会（センバツ）出場が決定した26日、本校新聞部と近江高校新聞部局が合同で制作した速報を彦根駅付近で配布した。本校のセンバツ出場が決定した約20分後に配布を開始し、約30分で約100枚を配り終えた。

「両校とも頑張ってたよ」との声が聞かれた。配布した速報紙を含む、本校野球部のセンバツまでの道のりを追った特集「赤鬼の春Ⅱ」は本校ホームページで見ることが出来る。

この速報紙の制作を主に担当した部員の石和慧大君（1-3）は「なんとか完成できてホッとしている。とても達成感があった」と振り返った。速報紙を手にした人からは「すごく喜ばしいことだ」

「両校とも頑張ってたよ」との声が聞かれた。配布に参加したメンバーは彦根駅前の通りと駅西口の二手に分かれ、約30分で予定していた100枚のうちほぼ全てを配りきった。またこの速報紙はセンバツ出場が決まった本校の野球部員にも配布された。



▲配布されたキマグレを読む野球部員